|  |  |
| --- | --- |
| 契約番号 |  |

令和　　年度

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事

海老名市〇〇〇〇地内

**施工計画書**

|  |  |
| --- | --- |
| 提出年月日 | 令和　　年　　月　　日 |
| 受注者 | 株式会社　〇〇建設　　　代表取締役○○○○ |

目　　　次

１　工事概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

１－１　工事概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

１－２　工事箇所位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

１－３　工事内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

２　計画工程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

３　現場組織表及び施工体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

４　安全管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

５　主要機械・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

６　主要資材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

７　施工方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

（使用機械、仮設備計画、工事用地等を含む）

８　施工管理計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

８－１　工程管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

８－２　品質管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

８－３　出来形管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

８－４　写真管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

　８－５　監督員による検査及び立会い(段階確認等)・・・・・・・・・１５

９　緊急時の体制及び対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

10　交通管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

11　環境対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

12　現場作業環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

13　再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法・・・・・・・・１９

14　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

１．工事概要

１－１　工事概要【記載例】

１　工事名　　○○○○○○○○○○工事(その○)

２　路線名等　　市道○○○号線

３　工事場所　　海老名市○○○地内（○○○地先）

４　主要工種　　工事延長 Ｌ＝○○○ｍ、幅員 Ｗ＝○○ｍ

排水工　○○側溝（○○○○○）　Ｌ＝○○○ｍ

舗装工　○○舗装（ｔ＝○ｃｍ）　Ａ＝○○○㎡

　　　　○○路盤（ｔ＝○ｃｍ）　Ａ＝○○○㎡

５　工　　期　　自　令和○○年○○月○○日

至　令和○○年○○月○○日

６　契約金額　　金　○○,○○○,○○○　円

７　発 注 者　　海老名市○○部○○課

　　　（所管課また　　電話　０４６（２３１）２１１１（代表）

は担当部署）　電話　０４６（○○○）○○○○（直通）

８　受 注 者　　○○建設株式会社

海老名市○○○○丁目○○番○○号

電話　０４６（○○○）○○○○

FAX　 ０４６（○○○）○○○○

現場代理人氏名　　　　　○○○○

主任（監理）技術者氏名　○○○○

１－２　工事箇所位置図

　　位置図　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　縮尺１：1万（程度）

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　必要に応じ添付する |

　　　箇所図　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　縮尺１：2,500（程度）

|  |
| --- |
|  |

　１－３　工事内容

上段：当初

下段：変更

本工事内容は下記のとおりです。　【記載例・設計書の写しでも可】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 工種等 | 細別・内容 | 単位 | 数　　量 | 摘　　要 |
| 道路改良 |  |  |  |  |
| 　土工 |  |  |  |  |
|  | バックホウ床掘　　　0.8㎥　床掘積込 | ㎥ | 　　　3,500　　　3,600 |  |
|  | 埋戻ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8㎥　振動ﾛｰﾗｰ0.8ｔ | 〃 | 　　　1,800 |  |
|  | 残土処理　　10ｔﾀﾞﾝﾌﾟ　１６㎞ | 〃 | 　　　2,380　　　2,480 | 指定処分地　○○処分場 |
| 　排水工 |  |  |  |  |
|  | 函渠型側溝工　　300×2000 | ｍ | 212 |  |
|  | 函渠型側溝工　　300×1000 | ｍ | 　　　　　0　　　　　5 |  |
|  | 集水桝工　　 | 箇所 | 　　　　 20 |  |
| 　舗装工 |  |  |  |  |
|  | 下層路盤工　　RC40　ｔ=25㎝ | ㎡ | 　　　1,500 |  |
|  | 上層路盤工　　RM40　ｔ=20㎝ | 〃 | 　　　1,500 |  |
|  | 安定処理工　　　ｔ=10㎝　　再生As合材30mm | 〃 | 　　　1,500 |  |
|  | 表層工　　　 ｔ=5㎝　　再生As合材密粒20mm | 〃 | 　　　1,550 |  |
| 　区画線工 |  |  |  |  |
|  | 区画線工　溶融式（手動）　　実線 ゼブラ 15cm | ｍ | 　　　1,000 |  |
|  | 区画線工　溶融式（手動）　　ゼブラ 45cm | 〃 | 　　　 　40 |  |
|  | 区画線工　溶融式（手動）　　矢印･記号･文字15cm換算 | 〃 | 　　　 420 |  |
|  |  |  |  |  |

２．計画工程表

ﾊﾞｰﾁｬｰﾄ式、ﾈｯﾄﾜｰｸ式等で作成

* 施工計画書には、計画工程表および変更工程表を添付する。なお、実施工程表の添付は必要ありません。３．現場組織表及び施工体系図

※現場組織表【記載例】

現場代理人

氏　　　名

主任（監理）技術者

氏　　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話

技術関係

事務関係

労務担当者

氏　　　　名

交通安全担当者

氏　　　　名

施工管理担当者

氏　　　　名

品質管理担当者

氏　　　　名

産業廃棄物担当者

氏　　　　名

資材担当者

氏　　　　名

建設機械担当者

氏　　　　名

安全衛生担当者

氏　　　　名

事務担当者

氏　　　　名

**※現場代理人、主任（監理）技術者の業務分担が適切か。（建設業法第26条の3）**

**※施工体系図は、工事関係様式にあるものを参考に作成してください。**

４．安全管理【記載例】

４－１　基本方針

工事中に発生する災害を防止するため、工事の進捗状況に応じた適切な防止策を講じると共に、安全協議会の活動を通じて各協力会社の自主的な安全衛生管理を推進し、労務者及び、第三者に対する安全衛生の確保に努め、快適な作業環境の形成を推進する。

また、労働基準法、労働安全衛生法等諸法令、土木工事安全施工指針、建設機械施工安全指針、建設工事公衆災害防止対策要綱等関係官公庁の通達等指示事項を遵守し、全工程を通じ、無事故・無災害を目標とする。

４－２　安全衛生管理計画

１　安全管理組織

統括安全衛生責任者：氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（現場代理人）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（主任技術者）

元方安全衛生管理：氏名

安全巡視担当責任者

氏　　　　名

工事安全担当責任者

氏　　　　名

建設機械担当責任者

氏　　　　名

交通安全担当責任者

氏　　　　名

安全衛生担当責任者

氏　　　　名

労働安全担当責任者

氏　　　　名

　　２　工事安全教育及び訓練についての活動計画

　　　　　　　　　　　　　※職員（現場代理人又は主任（監理）技術者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実　施　項　目 | 構成又は指示者 | 実　施　内　容 | 備　　考 |
| 毎　日　の　活　動 | 朝礼 | 職員(※)､作業員の全員 | 体操､当日の作業説明､注意事項等作業の連絡調整と指示伝達を行なう。 | 始業前 |
| 安全ミーティング | 職員、協力業者の作業グループ毎 | 職員は協力業者の作業グループ別の危険予知ミーティングに立合い指導する。作業グループ別に当日の作業内容､配置､服装､体調のチェックと作業手順危険予知ミーティングにより作業に対する危険予知を行なう。 | 始業前 |
| 始業前点検 | 作業グループ毎 | 機械及び車両の始業前点検を朝礼後行なう。 |  |
| 作業中の指導監督 | 職員､安全衛生担当責任者 | 作業の中で指示、打合せ事項が順守されているか確認すると共に不安全状態､不安全行動がないように指導監督する。 | 随時 |
| 作業場所の巡視 | 統括安全衛生責任者 | 工事進捗状況、作業の連絡・調整・指示事項､作業状況を確認すると共に不安全状態､不安全行動がないように指導監督し､巡視記録を取る。 | 随時 |
| 工事安全打合せ会 | 職員､安全衛生担当責任者 | 翌日の作業予定､作業の連絡調整を行なうと共に､作業に伴う安全衛生指示を行なう。打合せ事項は記載し､指示書として協力業者に配布する。 |  |
| 毎　　週 | 毎週点検 | 建設機械担当責任者 | 機械の週点検を毎週月曜日に実施する。 | 月曜日 |
| 一斉清掃 | 安全衛生担当責任者 | 各職、持ち場の清掃を行なう。 | 金曜日 |
| 毎　　月 | 月例点検 | 建設機械担当責任者 | 機械の月例点検を毎月１日に実施する。 | 毎月1日 |
| 安全訓練（安全衛生協議会） | 職員､作業員の全員 | 災害事例等の資料やビデオによる視聴覚訓練及び実践訓練をし､安全意識の高揚に努める。 | 4時間／月 |
| 社内パトロール | 本社安全管理者 | 作業所を巡回する。 | 第1金曜日 |
| 随　時 | 新規入場時教育 | 職員､安全衛生担当責任者 | 新規入場者の雇用形態､資格､免許､健康状態の確認を行なうと共に工事概要､作業所順守事項、作業方法、災害防止対策の教育指導を行なう。 | 随　時 |

　４－３　労務管理計画

労働安全衛生法および労働基準法等の関係法令を遵守し、休業日及び作業時間帯、健康診断等の実施、安全衛生教育の方法、高年齢者等への対応等について記述する。

【記載例】

１）休業日及び作業時間帯

・休日は、原則として日曜日・祝日とする。

・作業時間は、午前9時00分作業開始、午後5時終了とする。

・休日または夜間に作業を実施する場合、事前に監督員の承諾を得る。

２）健康診断等の実施

・雇用時の健康状態のチェック

・年1回の健康診断の実施

・救急薬品の常備

３）工事安全教育の実施等

・新規入場時教育

・高齢者及び年少者に対する適正な作業分担

４－４　第三者施設に対する安全対策

家屋、河川、鉄道、ガス、水道、電気、電話等に近接して工事を行う場合の対策を記述する。

４－５　防火管理計画（危険物の保管方法）

消防法等の関係法令に基づき、現場内での火気、電気（受電配電盤の管理等含む）の取り扱いや防火対策について記述する。

重機燃料や酸素・アセチレン等の保管方法について記述する。

４－６　免許･資格等一覧表

作業主任者の配置が必要な作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を記述する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名　　　称 | 氏　　　名 | 登録番号 |
| 地山の掘削 | 海老名 五郎 | 第○○○○○号 |
| 勝瀬 次郎 | 第○○○○○号 |
| 土止め支保工 | 海老名 五郎 | 第○○○○○号 |
| 勝瀬 次郎 | 事○○○○○号 |
| 型枠支保工 | 海老名 五郎 | 第○○○○○号 |
| 内野 二郎 | 第○○○○○号 |
| 足場の組み立て | 海老名 五郎 | 第○○○○○号 |
| 内野 二郎 | 第○○○○○号 |
| 玉掛け | 鈴木 一郎 | 第○○○○○号 |
| ガス溶接 | 山田 太郎 | 第○○○○○号 |

※ 技能講習修了証等の写しを添付する。

４－７　その他（現場状況に応じた安全対策等について計画する）

５．主要機械

工事に使用する機械で、設計図書で指定されている機械（騒音振動、排ガス規制）について記載する。

【記載例】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機　械　名 | 規　　　格 | 台数 | 使用工種 | 備　　　考 |
| バックホウ | ０．６㎥ | １ | 土　工 | 排ガス対策型(ﾘｰｽ) |
| 大型ブレーカー | ０．６㎥ | １ | 〃 | 　　　〃 |
| ダンプトラック | １０ｔ | ５ | 〃 | 　　　〃 |
| タイヤローラー | ８～２０ｔ | １ | 舗装工 | 　　　〃 |
| マカダムローラー | １０～１２ｔ | １ | 　〃 | 　　　〃 |
| Ａｓフィニッシャー | ２．４～５ｍ級 | １ | 　〃 | 　　　〃 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※用途外使用がないか確認する。（バックホウでの杭打ち等）

※現場で使用する機械と整合しているか。

６．主要資材

工事に使用する指定材料及び主要資材について、品質証明方法等について記載する。

【記載例】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品　　名 | 規格・寸法 | 予定数量 | 製造業者又納入予定者 | 品質証明 | 適用 |
| ○○側溝 | 300×2000 | 106本 | ㈱○○産業 | 証明書 |  |
| ○○側溝管理桝 | 300用 | 20個 | ㈱○○産業 | 証明書 |  |
| 再生砕石 | ＲＣ－４０ | 162㎥ | ○○石材 | 認定書 |  |
| 再生粒調砕石 | ＲＭ－３０ | 162㎥ | ○○石材 | 認定書 |  |
| アスファルト | 再生粗粒度 | 80 t | ○○アスコン | 認定書 |  |
| アスファルト | 再生密粒度 | 80 t | ○○アスコン | 認定書 |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※指定材料については、監督員の検査が必要。

※現場で使用する材料と整合しているか。

７．施工方法【記載例】

　７－１　施工順序

　　　　※　工事全体の流れを示す施工順序フロー図を作成し､主要工種には施工順序図､手順等を示す。

試掘工

樹木伐採・障害物撤去

路盤工

仮設工

準備工

舗装工

排水工

仮設道路工

仮囲設置工

仮設電気設備等

土留工・土工

区画線設置工

マンホール工

防護柵工

仮設道路撤去工

仮囲撤去工

仮設電気設備等撤去工

土留工・土工

ガードレール設置工

函渠型側溝工

集水桝工

土留支保工設置

バックホウ床掘

掘削土処分

路床の敷均し・締固め作業

下・上層路盤の敷均し・締固め作業

土留工撤去工

埋戻し

基礎工・型枠工・コンクリート工

マンホール据付

表面清掃

瀝青材料散布

アスファルト混合物の舗設・転圧

仮設工

清掃工

　７－２　工種別に施工手順を記載する

【記載例】

７－２　舗装工施工手順

　　　　　次の手順でアスファルト舗設工を行なう。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・バックホウ、人力にて整正する。

不　陸　整　正

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・ロードローラー、タイヤローラー等で締固める。

バックホウ、ロードローラー、

タイヤローラー等の搬入

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・構造物を汚さないよう所定の量を均一に散布する。

アスファルト混合物の転圧

瀝青材料散布

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ディストリビュータ及び人力）

合　材　搬　入（温度管理）

アスファルト

フィニッシャの搬入

交　通　開　放

アスファルト混合物の舗設

砂散布（最小限）

ロードローラー（初期転圧）、

タイヤローラー等の搬入

初期締固め前温度測定

開放温度計測（温度管理）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・混合物の最適締固温度付近にて施工する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・ローラーによる締固めが不可能な箇所は、振動

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　コンパクター、タンパ等で締固める。

（確認事項）

※仮設計画、施工方法が具体的に記載されており、施工のイメージが出来るか。

※表層と基層及びAs安定処理層の継目の処理が記載されているか。（縦１５ｃｍ以上、横１ｍ以上）

※コンクリートの打設計画、養生方法、養生期間が記載されているか。

（打設高さ１．５ｍ以内、養生期間　高炉７日以上、普通５日以上、早強３日以上等）

※契約書第18条による照査が実施されているか。

８．施工管理計画

　８－１工程管理

１）実施工程表を作成し工程管理を行う。

２）工事履行報告書を作成し、監督員に報告するとともに、計画と実施を対比し、－５％以上の差異が生じた場合は改善策を講ずる。

８－２品質管理

海老名市土木工事施工管理基準、特記仕様書等により管理するとともに、管理内容に応じた品質管理図表を作成する。（自社管理基準値を定めた場合、施工計画書に記載する）

　【品質管理計画表　記載例】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工　種 | 種　別 | 施工規模 | 試験項目 | 試験方法 | 規格値 | 試験基準 |
| アスファルト舗装 | 舗設現場 | 1550㎡ | 温度測定(初期締固前) | 温度計 | １１０℃以上 | 随時(1台毎)記録1日4回（午前・午後） |
| 密度測定 | 舗装試験法便覧３－７－７ | 基準密度の94%以上Ｘ10=96%以上Ｘ6 =96%以上X3=96.5%以上 | 300㎡以上基本3本1000㎡に1個(300㎡未満監督員と協議) |
| 外観検査（混合物） | 目視 |  | 随時 |
| 下層路盤工 | 施工 | 1500㎡ | 現場密度の測定 | 舗装試験法便覧２－５－３ | 最大乾燥密度の93%以上Ｘ10 95%以上Ｘ6　96%以上Ｘ3　97%以上 | 300㎡以上定期又は随時1000㎡に2個 |
| プルフローリング | 舗装試験法便覧１－７－４ |  | 300㎡以上(300㎡未満監督員と協議) |

※上記項目の提出書類：各種試験結果表、Ａｓ温度管理表、品質管理写真

（アスファルト混合物や路盤材等の品質試験表は材料承認時に省略した場合提出不要）

※下層路盤工のプルフローリング試験は段階確認項目

　※施工内容にあった品質管理計画となっているか。（精査をしない標準的な一覧表の添付は×）

８－３出来形管理

海老名市土木工事施工管理基準、特記仕様書等により測定項目及び測定基準を定め、設計値と実測値を対比して記録した出来形図を作成し管理する。

設計数量と出来形数量を対比した出来形数量調書を作成し、工事完成時に提出する。

　【出来形管理計画表　記載例】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 工　種 | 測定項目 | 規格値 | 測定基準 | 摘　要 |
| 測定値（Ｘ） | 測定値の平均（Ｘ10） |
| 下層路盤工 | 基準高 | ±40 | － | 40m毎/1箇所 | ここの測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足すると共に、平均値（Ｘ10）についても満足しなければならない。10個未満の場合、平均値は適用しない。 |
| 厚　さ | -45 | -15 | 40m毎/1箇所40m毎/1箇所（掘り起こし又は下がり寸法管理）中心部、両端部の3点で測定 |
| 幅 | -50 | － | 40m毎/1箇所 |
| 舗装工 | 厚さ | －７ | －２ | コア/400㎡に1個下がり寸法管理の場合40m毎/1箇所中心部、両端部の3点で測定 |
| 幅 | -25 | － | 40m毎/1箇所 |
| 薄層ｶﾗｰ舗装工(樹脂・塗装) | 厚さ | 設計値以上 | 箇所毎にﾃｽﾄﾋﾟｰｽにより測定 |  |
| 幅 | 20m毎/1箇所 |
| 使用量 | 材料使用量 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

※上記項目の提出書類：測定値の出来形表又は出来形図、Asコア厚測定管理図、出来形管理写真

　　　　　　　　　　　　出来形数量調書（記載例参照）

※施工内容にあった出来形管理計画となっているか。（精査をしない標準的な一覧表の添付は×）

出来形数量調書（工事完成時提出書類）

【記載例】

|  |
| --- |
| 出　来　形　数　量　調　書 |
| 名　　称 | 規　　格 | 単位 | 設計数量 | 出来形数量 | 増減 | 備考 |
| 土工 |  |  |  |  |  |  |
| 残土処理 | 10tﾀﾞﾝﾌﾟ | ㎥ | 2,480 | 2,480 | 0 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 排水工 |  |  |  |  |  |  |
| 函渠型側溝工 | 300×2000 | ｍ | 212.0 | 213.1 | （＋） 1.1 |  |
| 函渠型側溝工 | 300×1000 | ｍ | 5.0 | 5.0 | 0 |  |
| 集水桝工 |  | 箇 | 20 | 20 | 0 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 舗装工 |  |  |  |  |  |  |
| 下層路盤工 | RC-40　t=25cm | ㎡ | 1,500 | 1,525 | （＋）　25 |  |
| 上層路盤工 | RM-40　t=20cm | ㎡ | 1,500 | 1,525 | （＋）　25 |  |
| 安定処理工 | 再生材 t=10㎝ | ㎡ | 1,500 | 1,525 | （＋）　25 |  |
| 表層工 | 再密粒 t=5㎝ | ㎡ | 1,550 | 1,565 | （＋）　15 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 区画線工 |  |  |  |  |  |  |
| 実線　ゼブラ | 15cm | ｍ | 1,000 | 1,025 | （＋）　25 |  |
| ゼブラ | 45cm | ｍ | 40 | 43 | （＋）　 3 |  |
| 矢印・記号・文字 | 15cm換算 | ｍ | 420 | 430 | （＋）　10 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

　８－４写真管理

海老名市公共工事デジタル写真管理要領、神奈川県土木工事写真管理基準、特記仕様書等に定められた撮影項目、撮影頻度等により写真管理を行う。

【写真管理計画表　記載例】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 工　種 | 写真管理項目 | 撮影時期 | 摘　要 |
| 撮影項目 | 撮影頻度 |
| 着手前・完成 | 着手前 | 全景又は代表部分 | 着手前　1回 | 着手前 |  |
| 完　成 | 施工完了後　1回 | 完成後 |  |
| 施工状況写真 | 工事施工中 | 施工中の写真 | 諸基準等に従い工種、種別毎に施工状況が確認できるよう適宜 | 施工中 |  |
| 安全管理 | 安全管理 | 標識の設置状況 | 種類毎に1回 | 設置後 |  |
| 保安施設の設置状況 | 種類毎に1回 | 設置後 |  |
| 監視員、交通整理状況 | 各1回 | 作業中 |  |
| 安全訓練等の実施状況 | 実施毎に1回 | 実施中 |  |
| 使用材料 | 使用材料 | 形状寸法 | 品目毎に1回 | 使用前 |  |
| 検査実施状況 | 品目毎に1回 | 検査時 |  |
| 品質管理 | 品質管理計画表記載工種 | 計画表記載試験項目 | 試験毎に1回 | 試験実施中 |  |
| 出来形管理 | 出来形管理計画表記載工種 | 計画表記載測定項目 | 測定基準毎に１回 | 施工後 |  |

**※工事写真は原則電子媒体により提出すること。**

　※撮影頻度は明確に記載してあるか。（測点毎は明確でない。２０ｍ、４０ｍ等の記載必要）

８－５監督員による検査及び立会い（段階確認等）

海老名市土木工事共通仕様書、特記仕様書等に定められた、監督員による検査及び立会い（段階確認等）項目について一覧表を作成する。

【監督員による検査及び立会い　記載例】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種　　別 | 細　　別 | 確　認　時　期 |
| 舗装工（下層路盤） |  | 現場密度の測定実施時プルフローリング実施時 |

※海老名市土木工事共通仕様書等に規定されている必須事項の記載があるか。

９．緊急時の体制及び対応

　　大雨、強風等の異常気象で､災害の恐れがある場合には､工事を中止し､現場の整理を行なう。また、必要に応じて現場内のパトロールを行ない､工事区域及び周辺の監視あるいは連絡を行ない安全を確保する。なお、万が一災害等が発生した場合の連絡方法は次のとおりとします。

東京電力

○○営業所

電話

緊急事態

発　　生

㈱○○建設

　現場事務所

電話

FAX

　●現場代理人

　　○○　○○

　　電話

　●主任技術者

　　○○　○○

　　電話

NTT

○○営業所

電話

○○病院

電話

海老名消防署

電話

㈱○○建設

　担当所属

電話

FAX

東京ガス

○○営業所

電話

厚木労働基準監督署

電話

上水道管理者

○○営業所

電話

海老名警察署

電話

**＊**施工監理会社

担当者　○○　○○

電話

発注者

海老名市役所

　　○○○○課

電話

FAX

●監督員

　○○　○○

**＊**道路管理者（県道等）

○○土木事務所

　　　○○課

電話

**＊必要により記載する。**

　　　※他に､災害対策組織表、パトロール等を行なう場合の要件（大雨注意報・警報の発令時等の活動や降雨後の点検、点検範囲の明示､掘削時､災害時）、項目の記載や緊急機材一覧表を作成するものとする。

１０．交通管理

工事に伴う交通処理及び交通対策について次の項目を参考に対策を検討し、詳細な計画を行う。

①工事用運搬路として、一般道路を使用するときの積載物の落下等に対する対策及び歩行者等第三者に対する工事公害対策

②工事用資材・機械を輸送するときの、輸送経路、期間、方法、輸送担当業者、交通誘導員の配置、標識及び安全施設の設置場所等について記述する

③一般道路に係る工事の施工に関し、道路管理者及び所轄警察署と打ち合わせを行い、必要な安全対策を講じる

④設計図書等により指定された工事用道路の使用方法、維持管理及び補修方法

⑤工事用道路を他の事業者と共用するときの責任区分を明確にする

⑥積載超過運搬防止対策等の関係法令に関する遵守事項

⑦迂回路を設ける場合、迂回路の図面及び安全施設、案内標識の配置図面並びに交通整理員等の配置について記述する

【記載例】

１）工事用車両の運行に関する安全対策

・交通法規、安全速度の厳守、積載超過防止等の対策として、車両運転手に対し、新規入場時教育の中で教育指導を行う。

・現場までの運行経路を確認し、運搬経路図を作成する。

・一般車両及び歩行者について、安全確保を最優先とするよう、運転手および交通整理員に徹底する。

・見通しの悪いカーブや幅員の狭い交差点について、交通誘導員を配置し安全確保に努める。

２）交通誘導員の配置計画

・工事現場出入口に交通誘導員を1名配置する。

・歩行者等第三者の安全確保のため、作業現場直近に交通誘導員を1名配置する。

・交通誘導員には、笛、誘導棒等を携帯させ、一般車両や歩行者の安全確保に努める。

３）運搬路の維持管理

・運搬路の未舗装部については、1日1回以上散水車により散水を行う。

・運搬作業中は、1日2回交通安全担当責任者による巡視を実施する。

・現場出入口に清掃員を配置し清掃するとともに、運搬路に土砂が落下した場合は速やかに取り除き清掃する。

※夜間交通開放時の保安対策（チューブライト、保安灯等）

※必要により、保安施設の設置や交通誘導員の配置について計画図を作成する。

※道路法等諸法令に基づく通行許可等の取得

１１．環境対策

工事現場周辺の生活環境及び自然環境の保全と、円滑な工事施工を図ることを目的として、環境保全対策について関係法令に準拠して次の項目について対策を検討する。

①騒音・振動対策

②水質汚濁対策

③ゴミ、粉じんの処理

④事業損失防止対策（家屋調査、地下水観測等）

⑤その他必要事項

【記載例】

１）騒音・振動対策

・工事現場に隣接する地域住民に対し、事前に工事内容を説明し、振動と騒音に対する理解と協力を求めたうえ、工事に対して十分に注意し施工を行う。

・重機類等は常に点検整備し、整備不良による騒音、振動の発生防止に努める。

・重機や車両等のアイドリングストップに努める。

２）水質汚濁対策

・濁水及び重機等の燃料の流出に十分注意し、水質汚濁防止に努める。

・油漏れ等の事故発生に備えて吸油マットを用意する。

３）ゴミ、粉じんの処理

・土砂、建設廃材の積込み及び運搬車両により埃が発生する場合、散水車等を配置し対応する。

・作業員に、空き缶、タバコの吸殻等ゴミの投棄をさせないよう、朝礼や新規入場者教育時等に教育を行う。

４）事業損失防止対策（家屋調査）

・工事現場に隣接する塀等について、着手前にクラック等の破損箇所の調査を行う。

・必要により試掘調査を行い、ブロック塀等の根入れ深さの確認を行う。

５）その他事項

・現場内に仮設トイレの設置を行い、周辺環境に対する衛生面について配慮する。

　　　・喫煙は所定の場所を設け、受動喫煙をさせない。

　　　・海老名市役所環境方針（公共工事環境配慮マニュアル）を遵守する。

１２．現場作業環境の整備

現場作業環境の整備に関し、次の項目について対策を検討する。

①仮設関係

②安全関係

③イメージアップ対策の内容

④その他必要事項

【記載例】

・完成予想図を現場出入口付近に設置します。

・作業に適した服装を着用します。

　　・常に現場周辺の清掃を心がけます。

・作業員のための休憩所を設置し、喫煙等は所定の場所を設け、吸殻等の始末に注意します。

・工事現場にトイレを設置します。

１３．再生資源の利用促進と建設副産物の適正処理方法

資源の有効な利用の促進に関する法律及び関連法令に基づき、次の事項について対策内容と計画の保存期間（法定５年）を記述し、関係書類等を添付する。

①再生資源利用計画書

②建設発生土確認結果票（発生土量が500m3以上の場合）

③再生資源利用促進計画書

④建設廃棄物処理委託契約書写し（建設廃棄物の運搬委託・処分を行う場合）

⑤産業廃棄物収集運搬業許可証写し（運搬委託契約を締結した場合）

⑥産業廃棄物処分業許可証写し（処分契約を締結した場合）

⑦建設副産物の運搬経路図

（発生した副産物を仮置きする場所等についても､運搬経路に記載すること）

|  |  |
| --- | --- |
| 副　産　物　名 | 処　理　施　設　等 |
| 建設発生土 | ○○処分場 |
| アスファルト・コンクリート塊 | ㈱○○○○　○○工場（指定工場） |
| 鉄くず | ○○○○㈱ |

１４．その他

その他重要な事項について必要により記述する。

１）官公庁への手続き（警察、消防、市）

２）工事の周知（地元、交通機関、学校等）